

# 監査報告書

2026年5月14日

学校法人神戸学院  
理事会 御中  
評議員会 御中

学校法人神戸学院

常勤監事 松本史朗

監事 小川洋一

監事 梶田行雄

私たち監事は、私立学校法第52条及び学校法人神戸学院寄附行為第28条の規定に基づき、2025年度（2025年4月1日から2026年3月31日まで）の学校法人神戸学院の業務及び財産の状況並びに理事の職務の執行の状況について監査を行いました。その方法及び結果について、次のとおり報告します。

## 1 監査の方法及びその内容

(1) 理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。

(2) 理事の職務の執行が法令及び寄附行為に適合することを確保するための体制その他学校法人の業務の適正を確保するために必要なものとして「内部統制システム」があります。これは、私立学校法施行規則第13条各号に掲げる体制整備に関する理事会決議の内容及び当該決議に基づき整備されている体制のことです。

監査にあたり、このシステムの構築および運用の状況について、理事及び職員等から定期的に報告を受けました。さらに、必要に応じて説明を求め、意見を表明しました。

(3) 会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「会計監査人の職務の遂行に関する事項」（私立学校法施行規則第37条各号に掲げる事項）の通知を受け、必要に応じて説明を求めました。

以上の方法に基づき、当該会計年度に係る事業報告書及びその附属明細書、計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）並びに財産目録について検討しました。

## 2 監査の結果

### (1) 事業報告書等の監査結果

- ① 事業報告書及びその附属明細書は、法令及び寄附行為に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実は認められません。
- ③ 内部統制システムに関する理事会決議の内容は相当であると認めます。また、当該内部統制システムに関する理事の職務の執行についても、指摘すべき事項は認められません。

### (2) 計算関係書類及び財産目録の監査結果

会計監査人有限責任監査法人トーマツの監査の方法は相当であり、結果は相当でないとする認める事情は存在しません。

以 上